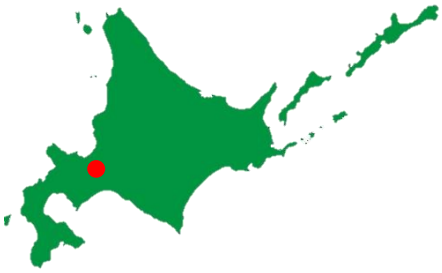
『教育×ゼロカーボン北海道』について考えよう
@全道代表高等学校長研究協議会



教育庁の依頼により全道を代表する高校の校長先生が集まる協議会で「教育×ゼロカーボン北海道」をテーマに具体的な事例紹介を交えて講演させていただきました。

講演後には各学校でどのような取組が考えられるかについて意見交換していただきました。

講演の様子は2/7発行の北海道通信社の記事にも掲載されました！

開催概要

- **日　時**
  令和５年(2023年) ２月３日（金）13:00～14:30
- **会　場**
  第二水産ビル３Ｆ 会議室
- **内　容**
  - ✓　なぜ？『教育×ゼロカーボン』なのか？
  - ✓　『教育×ゼロカーボン北海道』の取組
  - ✓　教育局と振興局の連携事例紹介

『DOTSU－NET』https：//education.dotsu.co.jp

解説

産官学で脱炭素社会実現を

近年、世界ポン実現に向けた取組を進各地で異常気めている。ゼロカーボンシティ宣言した道内の市町村数は9月1日現在、札幌市など179市町村となっている。

若年層における環境意識の高まっている。政府は3月、2050年までに温室ガス排出ゼロを目指す地球温暖化の推進に関する法律の改正案を閣議決定、道は同月に「ゼロカーボンシティ」宣言を行い、本道における脱炭素社会実現に向けた先進的な取組を進めるとともに、官民一体となって取組を強化・発展、札幌市は送の買い物ドローンの導入、発電等の再生エネルギーを活用する様子を見学した。

約50人の高校生が参加し9割以上が「満足した」と回答、「更なる発見や興味が増えた」「今後私たちが何をすべきか、どう改善すべきかを考える機会になった」などの感想。

参加した高校生の多くが、ゼロカーボンニュートラルの実現に向けた政策の推進、昨年10月に石狩市と企業誘致協定を締結したバスファーム実施、高校生ゼロカーボン50年に向けた先進的な取組を学んだ「産業視察」、高校生ゼロカーボン宣言に向けた意見交換会「ゼロカーボンシティ」を言葉にするために」などを通じ、地域の実情に応じた脱炭素に向けた取組を進める「ゼロカーボンシティ」を企画したいので、自腹」と指摘する。

2面……旭川市5年度予算案
3面……文科省SSH指定の旭西高普通科の探究活動
連載「教育の未来を語るTea Room」
6～7面……4年度道教育実践表彰 功績概要①
8面……道教育大附属札幌中 冬季研究大会

本日の紙面 2月7日

北海道通信

昭和50年6月12日第3種郵便物認可
日刊　祝祭日、日曜日、土曜日 休刊

日刊教育版

令和5年2月7日（火曜日）第12351号
発行所 札幌市中央区北5条西6丁目
株式会社 北海道通信社
電（代） 222－3521 FAX 222－3532
発行人 松本謙会
支社 東京 03(3264)1551 郵便番号101-0051 千代田区神田神保町2-14 SKビル
支局 函館 0138(23)5131 郵便番号040-0063 函館市若松町9-15 函館若松ビル
小樽 0134(23)5115 郵便番号047-0031 小樽市北浜町7-11 小樽内海ビル
（購読料1ヵ月12,960円）

人と自然を大切にした価値ある商品づくりを。
TOMBOW
スピーカシステム・スピーカエンクロジャ・ミックスコンソール・ビジネスホンシステム
北海道トンボ株式会社
〒060-0806 札幌市東区北6条東5丁目
TEL.(011)742－2551(代) FAX(011)731－1176
URL http://www.hokktombow.co.jp

道 高校生のゼロカーボン浸透へ

教育分野との連携開始

5年度から一部管内で試行

道教委は日、札幌市内で開かれた「教育×ゼロカーボン北海道」の取組を、道教委と連携して進めることを合意した。5年度から一部の管内で興味を引く講演やフィールドワークなど高校における探究学習の支援を開始し、7年度からの全道展開を目指す。また、高校生が取り組んだ探究活動の成果を発表する道教委の探究チャレンジ・北海道で毎年開催する「ゼロカーボン探究賞」を創設するなど、部局横断で取組を推進する考えだ。

道は本年度から、高校生の「ゼロカーボンについて理解を深めるため、道が実施した4年度道民意識調査による、「ゼロカーボン北海道」の様々な取組を進めておりと、取組を全道へ拡大するとの教育分野との連携を図る。

本庁のみなら学各総合振興局による講演会やワークショップ、バスツアーの実施などを通じ、現場の意識を高めるとともに、関係者による所管事項の「見える化」を進める。

道教委は日、札幌市内で開かれた「教育×ゼロカーボン北海道」の第二次海ビルで第4回道代表高校長研究協議会（道代表高校長協議会）を開催した。

道ゼロカーボン推進へ協力要請

現物に触れる機会提供を

後志・留萌の実践事例共有

道教委は日、札幌市内で開かれた「教育×ゼロカーボン北海道」の第二次海ビルで第4回道代表高校長研究協議会（道代表高校長協議会）を開催した。

「教育×ゼロカーボン北海道」の取組について意見を交わし、各校長に協力を要請する「共同宣言」を発表した。

後志教育局、留萌振興局が「現物に触れる機会提供」を共同宣言

道内の高校生がゼロカーボン推進へ協力要請

連携イメージ

文科省 GIGA特別講座第5弾

3月14日配信決定

量子力学の実験現場から

文科省は、GIGAスクール特別講座の第5弾「量子力学の謎と量子コンピュータへの挑戦」を3月14日午後3時15分から配信する。

分子科学研究所の森賀俊教授が量子力学を解説するとともに、量子コンピュータの実験現場から取材を自在に操る様子を紹介。参加型クイズも行い、量子力学の世界観や不思議さに触れる機会を提供する。

ユーチューブによる動画配信で事前に申し込みは不要。任意の端末でタイムへの回答、質問、メッセージなどを入力して参加する。

主な対象は中学生・高校生だが小学生や大学生、学校関係者も視聴できる。